

地域性を活かした未来志向のオフィスの実現 清水建設東北支店の計画・設計・施工・検証

[推薦文]

本業績は、仙台市内に位置する建設会社オフィスの計画・設計・施工・検証に関するもので、環境負荷削減を意図した多様な技術が適用されるとともに、効果検証も確実に実施されている。また、自然災害への対応を意図した柱頭免震の採用など、震災や津波、洪水のリスクもある地域において検討されるべき様々な技術を適用した積極的な計画となっている。環境負荷の低減のみならず、執務者の知的生産性を長期的に高く維持するための空間づくりについての取り組みにも特徴を有する。

また、環境・設備・ワークプレイス・災害対応などの様々な取り組みの可能性を地域に示す優れた参考事例となり、今後の新築物件にこれらの建築・設備のデータは生かされてゆくものと期待される。

本業績の主たる評価点は、以下のとおりである。

- 1) 空調設備では地中熱利用に特徴を有する。地中熱利用に於いて、水平コイル、浅層らせんコイル、ボアホールの3種類の採熱方式を採用し、各方式を比較している。建設会社らしい、実験的な取り組みともいえるもので、どの方式がどの様な特性を有するか、今後のデータ収集と解析にも大いに期待したい。
- 2) 空調設備の二次側に採用したオールフレッシュの空気式と床蓄熱併用空調は換気効率、エネルギー削減、快適性への寄与が期待される積極的な計画となっている。この計画を実現するため、建築的には外断熱を採用し、放熱面となるスラブ底面は美しい仕上げとなっている。環境、建築、構造のトータルな配慮が見られる。
- 3) B C P 対応では、自然災害の多い東北におけるショールーム的な位置づけで、免震、3日分の災害対応に加え、水害対応の1階柱頭免震による構成を採用するなど建設会社らしいアピールポイントを備えた建築となっている。
- 4) ワークプレイスの計画では、執務者の知的生産性を長期的に高く維持するための空間づくりの観点より、随所に適切な配慮が盛り込まれた計画でWELL認証において最高レベルのプラチナランクの認証を取得している。
- 5) 室内環境の快適性に関しては、実測調査や執務者へのアンケート調査に基づいて検証されており、信頼性が高い。内装と家具に東北の木材を使用したブレイクコーナー、大開口からの自然光が明るく天井の高い食堂、最上階の半屋外空間である柱のテラスなど、執務空間とはテクスチャの異なるリフレッシュするための空間づくりが特徴的である。

本業績では、これからのオフィス建築が備えるべき様々な側面に積極的にこたえる計画を行い、また丁寧に検証を行っており、技術面および信頼面共に高く評価できるものと判断された。今後、さらに継続した検証と結果の公表、運用改善等も期待される。

よって、本業績は空気調和・衛生工学会振興賞技術振興賞に値するものと認める。